

一般財団法人 岡山県国際交流協会

事業名	留学生等による地域住民・児童との交流会						
実施期間	平成27年6月～平成28年1月						
場 所	岡山国際交流センター、県内(岡山市を除く)小学校						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者(児童)	合計
	40	128		26	3	444	641 名

＜実施内容＞

・県内の小学校へ留学生を派遣し、留学生と児童が交流する「留学生等による国際理解学習支援プログラム」を10回実施しました。普段、ALT以外の外国人と接することが少ない児童にとって、直接留学生と触れ合うことのできる機会は大変貴重なものです。このプログラムを通して、子どもたちが世界への関心を深め、外国語学習にさらに意欲的に取り組むことが期待されます。

②留学生と県民との交流会

10カ国の留学生と地域住民が日本文化を体験したり、留学生の国の文化を学びました。留学生はクイズやプレゼンテーションを披露し、懇親会でも積極的に交流を図りました。文化体験では参加者とカルタを競ったり、甲冑、着物を着付けてもらいました。



スペイン語と日本語で発表を聞く児童

「留学生等による国際理解学習支援プログラム」は、学校が作成した国際理解学習の指導案に沿って、留学生と子どもたちが国際交流を図ることにより、異なる文化や習慣を持つ人々の存在を認め、理解する力を養うためのものです。

岡山ロータリークラブの協力のもと、県内の大学に在学する留学生を小学校へ講師として派遣しています。

留学生による出身国の紹介には、写真だけでなく、遊びや映像など工夫を凝らした内容が盛り込まれており、子どもたちも楽しみながら異文化に触れています。子どもたちからも日本文化の紹介があり、留学生も日本の学校や文化を学ぶ機会となっています。

留学生と県民との交流会

「留学生と県民との交流会」は留学生と地域住民が交流するためのプログラムです。

Meet the Worldでは8カ国の留学生と総勢100人が交流しました。留学生は日本のことを知りたい、自分の国のことを知ってもらいたいと意気込み、プレゼンテーションやクイズを準備し、当日も積極的に参加者と関わることができました。

カルタ世界大会と題して、優勝目指して対戦を行ないました。留学生が事前に調べてカルタ文化を参加者に紹介したことで、留学生も日本文化について深く知る機会となりました。本物の甲ちゆうを着た侍が登場し、着付け体験でも皆さんの興味を惹きつけてやみませんでした。着物を着付けてもらった留学生の姿はと大変美しかったです。

＜参加者からのコメント＞

「留学生等による国際理解学習支援プログラム」 円城小学校 教諭 吉幸 美奈さん(日本) /Mina Yoshii

留学生の方々が笑顔で接してくださり、自然と打ち解けることができました。英語のイメージが強かったので、スペイン語に触れ、言葉の多様さに気づきました。生活について知る機会がほとんどないので、文化の違いに驚きながらも、良さを知ることができました。子どもたちが、生き生きと交流している姿が印象に残っています。